

令和3年度事務事業評価シート

**【基本事項】**

|          |  |      |     |      |        |
|----------|--|------|-----|------|--------|
| 事務事業名    | 生涯学習・社会教育の推進   |      |     | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-04-01-05-01・12-01                                 |      |     | 担当係名 | 生涯学習係  |
| 事業区分     | 単年度予算  | 運営方法 | 直 営 |      |        |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)                        |      |     |      |        |
| 根拠法令等の名称 | 教育基本法・社会教育法・下諏訪町社会教育委員設置条例・下諏訪町未来へつなぐ歴史文化伝承事業補助金交付要綱 |      |     |      |        |

**【事業の概要及び分析】**

|  |   |                                    |       |     |       |       |       |
|--|---|------------------------------------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 事業の目的<br>(誰に対して)<br>(何のために)<br>(何を行うか) | 町民に対し、クローズアップしもすわの生涯学習ページなどを通じて、生涯学習活動のきっかけ、あるいは活動に資する情報を提供することで、「学び」の活動を推進する。<br>成人式の開催を通じて大人の仲間入りを祝い、権利と義務、責務を持つことへの自覚を促す。<br>悠久の歴史の中で培われてきた技術や文化を次世代へと残し、伝えていく活動を行う団体に「未来へつなぐ歴史文化伝承事業補助金」を交付し、活動を支援する。 |                                    |       |     |       |       |       |
| 事業の活動成果<br><br>(事業の実施によりどのような状態にしたいか)  | 指標名   | 指標の算出方法                            | 単位    |     | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|  | 歴史文化伝承活動の啓発普及(R2は自然観察会参加者数)   | 「未来へつなぐ歴史文化伝承事業補助金」の交付確定団体数(R2は同左) | 団体(人) | 目 標 | 60    | 20    | 20    |
|  |   |                                    |       | 実 績 | 0     | 10    |       |
|  |   |                                    |       | 達成率 | 0.0%  | 50.0% |       |

**【投入されたコスト・業務量】**

|               |                | 令和2年度決算      |          | 令和3年度決算   |          | 令和4年度予算   |          |  |
|---------------|----------------|--------------|----------|-----------|----------|-----------|----------|--|
| 事業費           | 事業費 A          | 4,911 千円     |          | 6,890 千円  |          | 7,567 千円  |          |  |
|               | うち 会計年度任用職員人件費 | 2.00 人       | 3,384 千円 | 2.00 人    | 3,708 千円 | 2.00 人    | 4,280 千円 |  |
|               | 正規職員人件費 B      | 0.50 人       | 3,208 千円 | 0.50 人    | 3,308 千円 | 1.00 人    | 6,583 千円 |  |
| 事業費合計 C (A+B) |                | 8,119 千円     |          | 10,198 千円 |          | 14,150 千円 |          |  |
| 財源内訳          | 特定財源           | 国の負担         |          |           |          |           |          |  |
|               |                | 県の負担         |          |           |          |           |          |  |
|               |                | 町の借入         |          |           |          |           |          |  |
|               |                | その他          |          |           |          |           |          |  |
|               |                | うち 使用料・手数料 D |          |           |          |           |          |  |
| 一般財源 (町の負担)   |                | 8,119 千円     |          | 10,198 千円 |          | 14,150 千円 |          |  |
| 受益者負担率 (D/C)  |                | 0 %          |          | 0 %       |          | 0 %       |          |  |

**【事業の評価】**

| 区 分 | 評 価 | 説 明   |
|-----|-----|---|
| 妥当性 | A   | 法律で義務付けられている<br>「社会教育法」第3条により、社会教育・生涯学習の環境醸成、奨励、振興は市町村の努力義務である。   |
| 公平性 | A   | 適切である<br>「社会教育法」により、地方公共団体は「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するよう努めなければならない。」と規定されている。 |
| 効率性 | A   | 適切である<br>クローズアップしもすわの編集では、町民参加による編集会議において、また成人式では成人者にスタッフとなつていただくことにより、当事者目線による声を取り入れている。                   |
| 達成度 | C   | 目標値以下である<br>令和3年度の重点施策であるが、新規事業であること、またコロナ禍の影響もあり、認知度が上がらず、分館以外の申請が少なかった。                                   |

|                              |      |   |
|------------------------------|------|---|
| 総合評価                         | 拡 充  | 「学び」の活動を継続させるため、またアフターコロナを見据え、オンラインの積極的利活用など新たな「学び」の情報提供及び支援を行っていく。 |
| 前年度の総合評価<br>(評価が変わった場合はその理由) | 手法改善 | コロナ禍において、「学び」の継続性を検討してきたことを踏まえ、実践に移すため。                             |

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

|          |   |      |     |      |        |
|----------|---|------|-----|------|--------|
| 事務事業名    | 人権意識の高揚と啓発活動  |      |     | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-04-05-10-01  |      |     | 担当係名 | 生涯学習係  |
| 事業区分     | 単年度予算   | 運営方法 | 直 営 |      |        |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)                         |      |     |      |        |
| 根拠法令等の名称 | 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律・人権教育、啓発に関する基本計画・下諏訪町人権教育推進委員会設置要綱 |      |     |      |        |

【事業の概要及び分析】

|   |   |                   |    |     |       |       |       |
|---|---|-------------------|----|-----|-------|-------|-------|
| 事業の目的<br>(誰に対して)<br>(何のために)<br>(何を行うか)    | 町民ひとりひとりが他人を思いやり、命を大切にできる社会を実現するため、権利としての人権を理解し、共有することに資する教育を推進する。<br>推進を計画的に行うため、また情報の共有を図るため、人権教育推進委員会を開催する。<br>人権問題の正しい理解に資する人権教育研修会を開催する。 |                   |    |     |       |       |       |
| 事業の活動成果<br><br>(事業の実施によりどのよう<br>な状態にしたいか) | 指標名   | 指標の算出方法           | 単位 |     | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|   | 人権教育研修<br>会への参加   | 人権教育研修会への参<br>加者数 | 人  | 目 標 | 80    | 70    | 70    |
|   |   |                   |    | 実 績 | 60    | 47    | /     |
|   |   |                   |    | 達成率 | 75.0% | 67.1% | /     |

【投入されたコスト・業務量】

|               |                | 令和2年度決算  |          | 令和3年度決算  |          | 令和4年度予算  |          |
|---------------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 事業<br>費       | 事業費 A          | 234 千円   |          | 241 千円   |          | 276 千円   |          |
|               | うち 会計年度任用職員人件費 | 人        | 千円       | 人        | 千円       | 人        | 千円       |
|               | 正規職員人件費 B      | 0.30 人   | 1,925 千円 | 0.30 人   | 1,985 千円 | 0.50 人   | 3,292 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) |                | 2,159 千円 |          | 2,226 千円 |          | 3,568 千円 |          |
| 財源<br>内訳      | 特定財源           | 千円       |          | 千円       |          | 千円       |          |
|               | 国の負担           | 千円       |          | 千円       |          | 千円       |          |
|               | 県の負担           | 25 千円    |          | 25 千円    |          | 25 千円    |          |
|               | 町の借入           | 千円       |          | 千円       |          | 千円       |          |
|               | その他            | 千円       |          | 千円       |          | 千円       |          |
|               | うち 使用料・手数料 D   | 千円       |          | 千円       |          | 千円       |          |
|               | 一般財源 (町の負担)    | 2,134 千円 |          | 2,201 千円 |          | 3,543 千円 |          |
| 受益者負担率 (D/C)  |                | 0 %      |          | 0 %      |          | 0 %      |          |

【事業の評価】

| 区 分   | 評 価                | 説 明  |
|---|--------------------|--|
| 妥当性<br>町が行う必要があるか<br>国・県・民間・住民と役割<br>分担できないか      | B<br>町以外では<br>行えない | 「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」第5条において、地方公共団体は、発達段階に応じて人権尊重の理念に対する理解を深め体得することができるよう、機会の提供や効果的な手法により、施策を策定し実施する責務を有すると規定されている |
| 公平性<br>受益者が偏っていないか<br>適切な費用負担を求めているか              | A<br>適切である         | 人権研修会は、関係者だけでなく、広く町民や各種団体、企業等へも参加を案内している。  |
| 効率性<br>予算、人員と成果を踏まえ、<br>事業が効率的に行われているか            | A<br>適切である         | 長野県の人権教育促進事業補助金を活用するとともに、教育事務所とも連携することで、質の高い、効果的な研修となるよう努めている。   |
| 達成度<br>事業の活動成果は目標<br>を上回っているか<br>(下回っている場合は、その理由) | C<br>目標値以下<br>である  | 落ち着いた新型コロナウイルスの感染状況から、関係者のみの参加としたため、目標値を下回っている。  |

|                              |      |   |
|------------------------------|------|---|
| 総合評価                         | 拡 充  | 感染対策を施す一方で、アフターコロナを見据えたオンラインの積極的活用など新たな「学び」の形態を実践することで、人権教育を推進していく。 |
| 前年度の総合評価<br>(評価が変わった場合はその理由) | 手法改善 | コロナ禍において、「学び」の継続性を検討してきたことを踏まえ、実践に移すため。                             |

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

|          |  |      |     |      |        |
|----------|--|------|-----|------|--------|
| 事務事業名    | 公民館活動の振興と各区分館への支援                      |      |     | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-04-03-05-01・10-01                   |      |     | 担当係名 | 生涯学習係  |
| 事業区分     | 単年度予算                                  | 運営方法 | 直 営 |      |        |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)          |      |     |      |        |
| 根拠法令等の名称 | 教育基本法・社会教育法・下諏訪町公民館条例・公民館の設置及び運営に関する基準 |      |     |      |        |

【事業の概要及び分析】

|  |  |  |    |     |       |        |       |
|--|--|--|----|-----|-------|--------|-------|
| 事業の目的<br>(誰に対して)<br>(何のために)<br>(何を行うか) | 町民の自主的、主体的な「学ぶ・集う・結ぶ」活動を支援するとともに、きっかけとなる定期講座、町民大学、学級などを開設する。また学習成果の発表の場として町民総合文化祭を開催する。より地域に根差し、地域の拠り所である各区分館の活動を支援し、活性化を図る。 |  |    |     |       |        |       |
| 事業の活動成果<br><br>(事業の実施によりどのような状態にしたいか)  | 指標名  | 指標の算出方法  | 単位 |     | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度 |
|  | 公民館活動の活性   | 社会教育関係団体の年度当初登録数(目標)+講座等を通じた新規発足数-解散数=年度末数(実績) | 団体 | 目 標 | 69    | 61     | 64    |
|  |  |  |    | 実 績 | 61    | 67     |       |
|  |  |  |    | 達成率 | 88.4% | 109.8% |       |

【投入されたコスト・業務量】

|               |                | 令和2年度決算   |          | 令和3年度決算   |          | 令和4年度予算   |          |
|---------------|----------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|
| 事業費           | 事業費 A          | 4,008 千円  |          | 4,103 千円  |          | 4,588 千円  |          |
|               | うち 会計年度任用職員人件費 | 人         | 千円       | 人         | 千円       | 人         | 千円       |
|               | 正規職員人件費 B      | 1.50 人    | 9,625 千円 | 1.50 人    | 9,925 千円 | 1.00 人    | 6,583 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) |                | 13,633 千円 |          | 14,028 千円 |          | 11,171 千円 |          |
| 財源内訳          | 特定財源           | 国の負担      | 千円       | 千円        | 千円       | 千円        | 千円       |
|               |                | 県の負担      | 千円       | 千円        | 千円       | 千円        | 千円       |
|               |                | 町の借入      | 千円       | 千円        | 千円       | 千円        | 千円       |
|               |                | その他       | 千円       | 千円        | 千円       | 千円        | 千円       |
|               | うち 使用料・手数料 D   | 千円        | 千円       | 千円        | 千円       | 千円        | 千円       |
| 一般財源 (町の負担)   |                | 13,633 千円 |          | 14,028 千円 |          | 11,171 千円 |          |
| 受益者負担率 (D/C)  |                | 0 %       |          | 0 %       |          | 0 %       |          |

【事業の評価】

| 区 分   | 評 価 | 説 明   |
|---|-----|---|
| 妥当性<br>町が行う必要があるか<br>国・県・民間・住民と役割<br>分担できないか  | A   | 法律で義務付けられている<br>「教育基本法」の趣旨に基づく「社会教育法」第21条で市町村設置が、また第22条で目的達成のために行なう事業が規定されている。                              |
| 公平性<br>受益者が偏っていないか<br>適切な費用負担を求めているか          | A   | 適切である<br>「社会教育法」により、地方公共団体は「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するよう努めなければならない。」と規定されている。 |
| 効率性<br>予算、人員と成果を踏まえ、<br>事業が効率的に行われているか        | A   | 適切である<br>予算の範囲内で、また係体制の中で、町民の多様なニーズに最大限応えられるよう、事業を精査し、企画、実施している。  |
| 達成度<br>事業の活動成果は目標を上回っているか<br>(下回っている場合は、その理由) | A   | 目標値以上である<br>公民館において、また活動される町民も、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底することで、学習活動を再開し始めている。                                       |

|                              |      |   |
|------------------------------|------|---|
| 総合評価                         | 拡 充  | 感染対策を施しつつ、自主学習グループの活動及び公民館事業を継続している。アフターコロナを見据え、オンラインの積極的利活用など新たな学習方法を実践していくことで、「学び」の継続と活性化を図る。 |
|                              | 手法改善 | コロナ禍における学習継続に、アフターコロナを見据えた学習の継続を加えたため。  |
| 前年度の総合評価<br>(評価が変わった場合はその理由) |      |   |

# 令和3年度事務事業評価シート

## 【基本事項】

|          |                               |      |     |      |        |
|----------|-------------------------------|------|-----|------|--------|
| 事務事業名    | 勤労青少年ホーム活動の振興                 |      |     | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 05-01-02-10-01                |      |     | 担当係名 | 生涯学習係  |
| 事業区分     | 単年度予算                         | 運営方法 | 直 営 |      |        |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入) |      |     |      |        |
| 根拠法令等の名称 | 下諏訪町勤労青少年ホーム条例                |      |     |      |        |

## 【事業の概要及び分析】

|  |   |   |    |     |       |       |       |
|--|---|---|----|-----|-------|-------|-------|
| 事業の目的<br>(誰に対して)<br>(何のために)<br>(何を行うか) | 働く青少年(おおむね35歳未満)を中心とする勤労者の自主的、主体的な職業能力や教養を向上させる活動と世代を超えた交流を支援するとともに、働きがいを持って仕事に取り組めるよう定期講座、学級などを開設する。 |   |    |     |       |       |       |
| 事業の活動成果<br><br>(事業の実施によりどのような状態にしたいか)  | 指標名   | 指標の算出方法   | 単位 |     | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|  | 勤労者の講座等への参加者  | 平日夜間及び土日休日に開設した講座の年間設定人数(目標/上半期募集数×1.6)と実際の受講者延人数(実績) | 人  | 目 標 | 743   | 1,204 | 960   |
|  |   |   |    | 実 績 | 375   | 822   |       |
|  |   |   |    | 達成率 | 50.5% | 68.3% |       |

## 【投入されたコスト・業務量】

|               |                | 令和2年度決算  |          | 令和3年度決算  |          | 令和4年度予算  |          |
|---------------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 事業費           | 事業費 A          | 545 千円   |          | 810 千円   |          | 924 千円   |          |
|               | うち 会計年度任用職員人件費 | 人        | 千円       | 人        | 千円       | 人        | 千円       |
|               | 正規職員人件費 B      | 0.50 人   | 3,208 千円 | 0.50 人   | 3,308 千円 | 1.00 人   | 6,583 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) |                | 3,753 千円 |          | 4,118 千円 |          | 7,507 千円 |          |
| 財源内訳          | 特定財源           | 国の負担     | 千円       | 千円       | 千円       | 千円       |          |
|               |                | 県の負担     | 千円       | 千円       | 千円       |          |          |
|               |                | 町の借入     | 千円       | 千円       | 千円       |          |          |
|               |                | その他      | 千円       | 千円       | 千円       |          |          |
|               | うち 使用料・手数料 D   | 千円       | 千円       | 千円       |          |          |          |
| 一般財源 (町の負担)   |                | 3,753 千円 |          | 4,118 千円 |          | 7,507 千円 |          |
| 受益者負担率 (D/C)  |                | 0 %      |          | 0 %      |          | 0 %      |          |

## 【事業の評価】

| 区 分   | 評 価            | 説 明  |
|---|----------------|--|
| 妥当性<br>町が行う必要があるか<br>国・県・民間・住民と役割分担できないか      | B<br>町以外では行えない | 「勤労青少年福祉法」の改正により、勤労青少年ホームの設置規定は削除されたが、当該ホームの設置等を妨げるものでないことが国通知で明らかとなり、ホームの目的とする福祉の増進が改正法で地方公共団体の責務と規定されたことから、直営で行う必要がある。 |
| 公平性<br>受益者が偏っていないか<br>適切な費用負担を求めているか          | A<br>適切である     | 働く青少年が対象であるが、公民館の事業目的と兼ね合わせることで、すべての町民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、活動することを保証している。   |
| 効率性<br>予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか            | A<br>適切である     | 予算の範囲内で、また係体制の中で、町民の多様なニーズに最大限応えられるよう、事業を精査し、企画、実施している。  |
| 達成度<br>事業の活動成果は目標を上回っているか<br>(下回っている場合は、その理由) | C<br>目標値以下である  | 学習形態の多様化により、集いを通じて学ぶ若者が減少していることから、また収束しないコロナ禍の中で、講座の中止を余儀なくされるなど学ぶ活動が影響を受けていることから、目標値に達していない。                            |

|                              |      |   |
|------------------------------|------|---|
| 総合評価                         | 拡 充  | オンラインの積極的利活用など、若者が参加しやすい新たな学習方法を実践していくことで、「学び」の継続と活性化を図る。 |
| 前年度の総合評価<br>(評価が変わった場合はその理由) | 手法改善 | コロナ禍における学習継続に、アフターコロナを見据えた学習の継続を加えたため。                    |

# 令和3年度事務事業評価シート

## 【基本事項】

|          |   |      |     |      |        |
|----------|---|------|-----|------|--------|
| 事務事業名    | 総合文化センターの維持管理と自主事業                      |      |     | 担当課名 | 教育こども課 |
| (予算書コード) | 10-04-06-10-01・12-01                    |      |     | 担当係名 | 生涯学習係  |
| 事業区分     | 単年度予算                                   | 運営方法 | 直 営 | 委 託  |        |
| 事業の開始・終了 | 年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)           |      |     |      |        |
| 根拠法令等の名称 | 文化芸術基本法・劇場、音楽堂等の活性化に関する法律・下諏訪総合文化センター条例 |      |     |      |        |

## 【事業の概要及び分析】

|  |   |                                  |    |       |        |        |
|--|---|----------------------------------|----|-------|--------|--------|
| 事業の目的<br>(誰に対して)<br>(何のために)<br>(何を行うか) | 文化芸術活動を支援するとともに、発表を通じて発信、継承を図るための場としての施設を適切に維持管理する。なお、令和3年度は大規模改修のために実施設計を行う。また地域住民が文化芸術にふれることで創造力と感受性を育めるよう、鑑賞機会を提供していく。 |                                  |    |       |        |        |
| 事業の活動成果<br>(事業の実施によりどのような状態にしたいか)      | 指標名   | 指標の算出方法                          | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度  |
|  | 総合文化センターの利用   | 文化センター(ホール、公民館、勤労青少年ホーム)の利用者数の合計 | 人  | 目 標   | 48,800 | 48,800 |
|  |   |                                  |    | 実 績   | 20,678 | 27,120 |
| 達成率                                    | 42.4%   | 55.6%                            |    |       |        |        |

## 【投入されたコスト・業務量】

|               |                | 令和2年度決算   |            | 令和3年度決算    |          | 令和4年度予算   |          |
|---------------|----------------|-----------|------------|------------|----------|-----------|----------|
| 事業費           | 事業費 A          | 63,881 千円 |            | 117,408 千円 |          | 57,762 千円 |          |
|               | うち 会計年度任用職員人件費 | 人         | 千円         | 人          | 千円       | 人         | 千円       |
|               | 正規職員人件費 B      | 0.40 人    | 2,567 千円   | 0.40 人     | 2,647 千円 | 1.50 人    | 9,875 千円 |
| 事業費合計 C (A+B) |                | 66,448 千円 |            | 120,055 千円 |          | 67,637 千円 |          |
| 財源内訳          | 特定財源           | 国の負担      | 千円         | 千円         | 千円       | 千円        |          |
|               |                | 県の負担      | 千円         | 千円         | 千円       | 千円        |          |
|               |                | 町の借入      | 千円         | 千円         | 千円       | 千円        |          |
|               |                | その他       | 4,524 千円   | 4,794 千円   | 9,260 千円 |           |          |
|               | うち 使用料・手数料 D   | 4,447 千円  | 4,760 千円   | 8,860 千円   |          |           |          |
| 一般財源 (町の負担)   |                | 61,924 千円 | 115,261 千円 | 58,377 千円  |          |           |          |
| 受益者負担率 (D/C)  |                | 6.692 %   | 3.965 %    | 13.099 %   |          |           |          |

## 【事業の評価】

| 区 分 | 評 価 | 説 明                                    |
|-----|-----|--|
| 妥当性 | B   | 町が行う必要があるか<br>国・県・民間・住民と役割分担できないか      |
| 公平性 | A   | 受益者が偏っていないか<br>適切な費用負担を求めているか          |
| 効率性 | C   | 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか            |
| 達成度 | C   | 事業の活動成果は目標を上回っているか<br>(下回っている場合は、その理由) |

|                              |         |   |
|------------------------------|---------|---|
| 総合評価                         | 手法改善    | 令和3年度において大規模改修のための実施設計を行ったが、改修をきっかけに何を指し、どのような活動を行っていくのか、という視点からの意見集約が不足していると考え、令和4年度は施設のあり方を検討することとし、工事着工を先送りした。 |
|                              | 手法改善の内容 | 一般住民を含めた構成によるあり方を検討する会議を設置し、運営方針と改修計画を取りまとめ、方針に沿った事業展開及び計画に沿った改修を進めていく。   |
| 前年度の総合評価<br>(評価が変わった場合はその理由) | 拡 充     |   |